

教科に生かせる博物館展示資料一覧

- 北九州スタンダードカリキュラム対応 -

小学校社会科【第3学年】

月	学習内容	展示場所	教材活用例と博物館展示資料
4 5 6 7	<p>○ 学年オリエンテーション [1]</p> <p>1 もっとしりたいみんなのまち [26]</p> <p>(1) 学校のまわりのたんけん⑫</p> <p>(2) ○○区のまちのようす⑤</p> <p>※ 予備時間①</p>	<p>自然発見館</p> <p>博物館全域</p>	<p>・ 学校の周りにおける自然のジオラマ（岩屋海岸・浦の谷池・紫川・平尾台・曾根干潟・山田緑地）を観察し、特色ある地形や土地利用など、自分の区の様子に関心を喚起し、調べることができるようにする。</p> <p>【九州島と北九州の自然】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 北九州の全体像 ・ 九州島自然ガイド <p>【北九州の大地】</p> <p>【九州の鍾乳洞】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鍾乳洞のジオラマ解説 ・ 溶食、浸食地形 ・ カルスト地形と鍾乳洞 ・ 平尾台と千仏鍾乳洞の構造 <p>【北九州の海】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 北九州の磯と浜辺のジオラマ ・ 北九州の干潟のジオラマ <p>【北九州の川と池】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ため池および川のジオラマ ・ ため池の役割 ・ 川と池の観察コーナー <p>【北九州の林】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 林ジオラマ <p>【北九州の草原】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 草原ジオラマ <p>・ 地域にある公共施設として、館内を探検したり、働いている人にインタビューしたりする。</p>
9	<p>(3) 北九州市のまちのようす⑨</p>	<p>自然発見館</p> <p>博物館全域</p> <p>自然発見館</p>	<p>・ 北九州市の自然のジオラマ（岩屋海岸・浦の谷池・紫川・平尾台・曾根干潟・山田緑地）を観察し、特色ある地形や土地利用などの市の様子を捉え、白地図に書き込むなどして、まとめていく。</p> <p>展示資料は1 もっとしりたいみんなのまちを参照</p> <p>・ 市の公共施設として、館内を調べたり、働いている人にインタビューしたりする。</p> <p>・ 北九州市の立体模型を通して、市の白地図に土地の高いところや、低いところや主な海や川などを書きこみ、市の概要をとらえさせる。</p> <p>【九州島と北九州の自然】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 北九州の全体像 ・ 九州島自然ガイド <p>【北九州の大地】</p>
10	<p>2 見直そう わたしたちの買い物 [13]</p> <p>買い物と店の仕事</p> <p>※ 予備時間①</p>		

1 1	3 調べよう物をつくる仕事〔10〕		
1 2	〇〇工場の仕事 ※ 予備時間①		
1	4 さぐってみよう 昔のくらし〔15〕	カルチャー モール	<ul style="list-style-type: none"> 小倉・黒崎・戸畑祇園の山車・山笠や祭の様子のビデオを見て、これらの祭の掛け声や、山車を見比べることから、祭にはそれぞれの地域の特性があることに気づくことができるようにする。この活動を通して、自分の地域の祭は、いつ頃始まったか、なぜ行われるのかなど、祭について興味を喚起し、問題を見いだすことができるようにする。 <p>【プロローグ】</p> <p>シンボル展示</p> <ul style="list-style-type: none"> 映像資料「北九州の三大祇園祭」 小倉祇園山車 黒崎祇園笹山笠 戸畑祇園幟大山笠
2	(1) まちに伝わる祭りや行事⑦	文化学習園	
3	(2) 昔の道具とくらし⑧ ※ 予備時間①	民族探究館	
	○ 学年のまとめ〔1〕	体験学習	<ul style="list-style-type: none"> 昔の家の様子や道具などを観察して、気付いたことや疑問などを話し合い、学習問題をつくるようにする。 <p>【北九州地方の農家の暮らし再現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 農家家屋再現模型（土間、表の間、居間を部分的に再現） 農具など <p>【昭和30年代の暮らし再現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 戸畑の社宅の実物大再現模型 家財道具など生活用品全般 街角再現（ポスター、掲示板、ごみ箱など） <ul style="list-style-type: none"> 昔の農家（約100年前）に入り学芸員から話を聞くことで、昔の人の生活について知ることができるようにする。また、昔の道具（ひのし・箱膳・がんどう・黒電話など）に触れて、使い方を調べたり、道具を実際に使ってみたりする活動を通して、昔の人々の知恵や工夫、苦勞などを考えることができるようにする。（要事前予約）